

自助団体のプロフィール

- ・ 全日本断酒連盟（全断連＝断酒会）
1963年 会員8,000人、家族5,000人 600断酒会
- ・ AA（Alcoholic Anonymous）
1975年 メンバー5,700人 580グループ
- ・ 禁酒同盟 1920年 会員230人 3支部

基本となる活動

- ・ 断酒例会（家族の参加を重視）断酒新生指針7段階
- ・ AAミーティング 12ステップ
- ・ 体験談を語り、聴く → 過誤の反省、回復の方向性
- ・ 仲間意識、安心して過ごせる共生社会

A group of approximately ten people are seated around a large, dark wooden table in a meeting room. They are dressed in casual to semi-formal attire, including jackets and sweaters. The room has light-colored walls and a window with vertical blinds in the background. A framed calligraphy scroll is visible on the wall to the left. The scene is captured from a slightly elevated angle, showing the backs of two people in the foreground. The overall atmosphere appears to be one of a serious but supportive group meeting.

私は酒害から回復するために
断酒会に入会しました

断酒例会

基本理念

1. 断酒継続と新生
2. 一人のアルコールの害に苦しむ者を出さない、残さないための啓発→組織・グループの拡充
3. アルコール関連問題の防止→アルコールの害の社会啓発

活動概要

1. 断酒例会、AAミーティング（基本）
2. アルコールの害の啓発事業展開
全国大会・ブロック研修会・酒害相談事業研修講座
・啓発フォーラム・セミナー・相談会
・電話相談
3. 啓発出版物の刊行、ホームページの運営



全断連全国（沖縄大会）2013.11.17

連携活動

1. 地域連携～地域医療機関、市区町村
2. 司法との連携～飲酒運転防止、矯正施設協力
3. 行政との連携～精神保健福祉センター、自殺予防問題
4. 教育機関との連携～小中学校、高校、大学、看護学校
5. 社会復帰施設の運営
 - ・断酒会5都県9ヵ所 作業所、地域活動支援センター、グループホーム
 - 障害者総合支援法
回復当事者による運営
 - ・AA(MAC)15団体47ヵ所



アルコール関連問題啓発週間街頭キャンペーン

問題点と解決への方向性

1. 低い認知度

2. 極端に低いアルコール依存症の受診率

	人口	依存症者数	自助グループ人数
米国	3.2億	?	250~300万人(0.8~0.9%)
日本	1.3億	109万(0.85%)	1万3千人(0.01%)

3. 社会的偏見と当事者本人の偏見

4. 政策の不在→治療体系が確立されていない

医療リピーターの防止→自助団体への治療移行

5. 社会環境の変化

専門医療機関の拡充+公的扶助→断酒治療の先送り

責任の無い自由→所属=束縛を忌避

6. 財政面の脆弱性～酒害啓発や地域協力活動に限界あり